

平成28年度 暮らしの中の医療情報ナビ（大人編） アンケート結果

- 調査方法：平成28年8月に医療情報ナビ（大人編）を一斉発送した際、同封したアンケート調査用紙に記入してもらった形を実施。
- 調査時期：H28年7月15日～8月15日
- 調査機関：区市町村、保健所、関係団体、地域包括支援センター
- 全回答数：42件

I 冊子について

1 冊子は医療を理解するためのテキストとしてわかりやすかったですか。

- | | | | |
|--------------|------|--------------|-----|
| a わかりやすかった | (20) | d ややわかりにくかった | (0) |
| b 概ねわかりやすかった | (19) | e わかりにくかった | (0) |
| c ややわかりにくかった | (3) | | |

2 冊子の中で分かりにくかったのはどの部分ですか。（複数回答可）

- | | |
|----------------------------|-----|
| ① 急な病気やけがの時の対応(救急車の呼び方など) | (0) |
| ② 医師との関わり方(インフォームドコンセントなど) | (1) |
| ③ 病院や診療所について(入院の準備など) | (1) |
| ④ 医療費の仕組み(医療保険・医療助成など) | (3) |
| ⑤ 医療機能の分担(転院、かかりつけ医など) | (1) |
| ⑥ 在宅での医療・介護サービス | (1) |
| ⑦ 保健や医療に関する情報 | (1) |
| ⑧ その他 | (0) |

3 冊子の中で理解しづらかった点、工夫が必要な点

- ・高齢者には1ページ当たりの情報量が多い。
- ・字が多く、ページ数も多いので読みにくい。
- ・「地域包括支援センター」は「高齢者支援センター」と呼んでいる地区もあり、違うものと勘違いされる恐れがある。
- ・冊子のタイトルと内容が結びついていると、どんな時に手に取るべきか分かりやすくなる。
- ・リンク先にQRコードがあると便利。

4 冊子の中で取り上げてほしいテーマ

- | | |
|-------------------|---------------|
| ・人生の最終段階における医療 | ・介護保険制度 |
| ・季節ごとの注意点 | ・精神疾患への対応 |
| ・止血方法(三角巾の使用方法) | ・災害対策 |
| ・カルテ開示制度(用語解説の中で) | ・医薬品副作用被害救済制度 |
| ・認知症 | ・ジェネリック医薬品 |

5 冊子全体についての御意見

- ・高齢者が見るには字が多いうえに小さい。
- ・歯科関連の案内が少ない。
- ・10月から始まる「健康サポート薬局」についても啓発する内容が必要か？
- ・表紙を見ても何を書いてある冊子なのか分かりにくい。
- ・小さいため、持ち運びがしやすい。
- ・コンパクトにまとめられていて良かった。

II 医療情報に関する理解促進について

今後、医療に関する普及啓発を行う上で効果的な方法について

- ・ナビ冊子の設置場所が大事。どこでも手に取れる場所にあると良い。
- ・公的機関に限らず、様々な世代が訪れる機関、施設に普及啓発冊子を設置する。
- ・公共交通機関の吊り広告の利用。
- ・対話促進支援事業の更なる活用、拡大。
- ・イベントの開催。
- ・患者と医療に携わる人の顔が見えるような関係で普及できたら良い。